

左之通回答致シ可為哉

官学第六百六十九号ヲ以テ是迄本部於テ卒業致候学士并ニ即今從事スル官私之職掌給金額等取調之義御照会之趣領了然ルニ右学士中給料高判然不致向も有之候得共各地方へ出張いたし居候者ハ差向問合ノ訳ニも至り難く候間右等之最初出身之時之給料相認メ差出候ニ付自然現今之俸給ト相違候モノモ可有之候条此段為念申進候也

明治十三年十二月 東京大学三学部綜理 加藤弘之
文部省官立学務局長 濱尾 新殿

112 東京大学卒業生西川鉄次郎・藤田隆三郎・増島六一郎・

高橋一勝・元田肇・大谷木備一郎他九十名職掌・給金等

に付照会並回答

〔明治十三年十二月三日〕

理学士之分

明治十年七月卒業

化学科

岐阜県学校學校長兼教員
月給金八拾円

英國ジョンホップキンス大學校〔抹消〕
〔社〕學員

北海道札幌學校學務監督
月給金百円

高須碌郎
久原躬弦

宮寄道正

法学士之分

明治十一年七月卒業

法学科

外務省二等書記生
〔朱書〕
〔教〕在留

五十嵐恭次〔坪内数之助〕
〔花押〕〔花押〕

西川鉄次郎
藤田隆三郎

司法省判事補〔抹消〕
〔月謝金〕

河上謹一

文部省貸費英國留学

内務省中央衛生局御用掛
月給金六拾円

(欄外注記1)
〔官学第六百六十九号〕
〔朱書〕

是迄於其学部卒業致候学士并ニ即今從事スル官私之職掌給金額等承知致度義有之候間至急別調書申出相成度此段及御照会候也

官立学務局長

明治十三年十二月三日 文部少書記官 濱尾 新

東京大学法理文三学部綜理 加藤弘之殿

官立学務局長より本部卒業生徒職掌給金等問合來候ニ付而ハ

(欄外注記2)
〔官学第六百六十九号〕
〔朱書〕

(欄外注記3)
〔加藤弘之〕
〔花押〕
〔花押〕

〔五十嵐恭次〕〔坪内数之助〕
〔花押〕〔花押〕

〔花押〕〔花押〕

畠山重明

〔大蔵省印刷局
月〕日給金二円

同上

哲学、政治学

井上哲次郎

国府寺新作

千頭清臣

文部省御用掛
月給金六十円
東京師範学校教員
月給金六十円
東京大学予備門雇教員
月給金五十五円

同上

政治学、理財学

木場貞長

中隈敬藏

岡倉覚三

加瀬昶次郎

内務省土木局
月給金三十円
内務省勸農局御用掛
月給金五拾円
内務省土木局
月給金三十円
官私共就職セス
神奈川県土木局雇
月給金三十円
内務省土木局
月給金三十円
官私共就職セス
内務省土木局
月給金三十円

理学士之分
同上

化学

甲賀宜政

官私共就職セス

〔抹消〕〔朱書〕
〔同〕〔東京大学理学部化学研究生〕
〔抹消〕〔朱書〕
〔大蔵省三等属〕海軍省御用掛横須賀機関学校在勤
月給金五十円
京都府中学校教員
月給金七十円
島根県中学校長
月給金七十円
内務省勸農局御用掛
月給金四拾円

明治十三年十月卒業
北海南道該社支店へ出張ノ趣

土木工学

内田三省

官私共就職セス
北海南道該社支店へ出張ノ趣

機械工学

石田二男雄

吉田朋吉

大蔵省印刷局
日給金壹円八十錢
総計九十六人

同上

機械工学

土木工学

小柴保人

倉田吉嗣

岡胤信

日下部辨二郎

青木元五郎

腰塚英

地質学

巨智部忠承

山下傳吉

内務省勸農局御用掛
月給金六拾円
同上
月給金五拾円

同上

哲学、理財学

福富孝季

官私共就職セス

明治十三年十月卒業
北海南道該社支店へ出張ノ趣

土木工学

内田三省

官私共就職セス

大蔵省印刷局
日給金壹円八十錢
総計九十六人

(欄外注記一)
〔朱書〕
「〔答洛〕」

(弘中格) (五十嵐恭次)
印 印

十嵐恭次印

十嵐恭次印

〔文部省官立學務局及諸局往復〕明治十三年甲、(A30)